

ユーシン

# 景況レポート

Number.116  
(2023.4~6月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業230企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

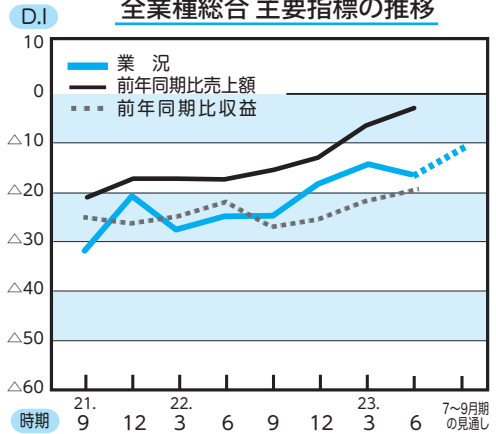
調査結果の  
あらまし

概況(4月▶6月期)

## 業況は、卸売業・サービス業・建設業で低下

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△17.0と、2023年1月~3月期(前期)の調査より3.9ポイント低下し、景況感は悪化しました。業種別では、卸売業で前期比8.6ポイント、サービス業で同比9.7ポイント、建設業で同比14.3ポイント低下しましたが、小売業・不動産業で横ばい、製造業で同比2.5ポイント改善しました。項目別では、売上判断D.Iが△7.8と前期比2.7ポイント、収益判断D.Iが△13.9と同比4.0ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上判断D.Iが△2.2、前期比4.8ポイント、同収益判断D.Iが△19.6、同比1.8ポイントともに改善しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△14.3と前期比0.1ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iにおいては前期比10.0ポイント減少しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比1.8ポイント減少しましたが、借入難易度は、特に大きな変化は見られませんでした。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が29.1%、「同業者間の競争激化」が28.7%、「原材料高」が27.4%と上位に挙げられました。また、特別調査の「アフターコロナと中小企業」について、新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過しましたが、貴社の現在の売上について、感染拡大前(およそ3年前)と比べ、どの程度となっていますかの質問に対し、ほぼ変わらない(90%~110%)との回答が47.0%と最も多く、次いでやや減少(71%~89%)との回答が21.8%という結果となりました。

全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.Iは「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

## 業況の見通し判断D.Iは△12.2、当期実績比4.8ポイント改善の見込

来期は、製造業・卸売業・サービス業・建設業で改善を見込んでいます。

項目別では、売上判断D.Iが当期実績比6.5ポイント、収益判断D.Iでは同比6.5ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比3.0ポイント低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.4ポイント、残業時間判断D.Iが同比3.5ポイントともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が57.0%、「販路を広げる」が32.2%、「人材を確保する」が20.9%と上位に挙げられました。

### 景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました)

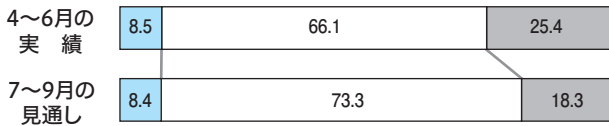
業種名	時期	5年1月~3月	5年4月~6月	5年7月~9月見通し	概要	要点
総合		☁	☁	☁	業況判断D.Iは、3.9ポイント低下し△17.0。来期は、4.8ポイント改善し△12.2の見通し。	
製造業		☁	☁	☁	業況判断D.Iは、2.5ポイント改善し△16.9。来期は、7.0ポイント改善し△9.9の見通し。	
卸売業		☁	☁	☁	業況判断D.Iは、8.6ポイント低下し△24.2。来期は、6.2ポイント改善し△18.2の見通し。	
小売業		☁	☁	☁	業況判断D.Iは、横ばいの△24.4。来期は、横ばいで△24.4の見通し。	
サービス業		☁	☁	☁	業況判断D.Iは、9.7ポイント低下し△25.8。来期は、9.7ポイント改善し△16.1の見通し。	
建設業		☁	☁	☁	業況判断D.Iは、14.3ポイント低下し0.0。来期は、5.6ポイント改善し5.6の見通し。	
不動産業		☁	☁	☁	業況判断D.Iは、横ばいの△5.6。来期は、5.5ポイント低下し△11.1の見通し。	

好調 ← ☀️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ ☁️ → 低調 / 📈 業況改善 📉 業況悪化 ➡️ 業況変化なし

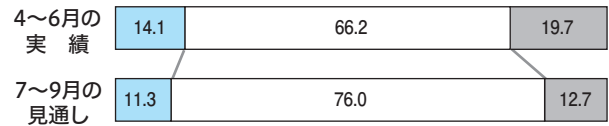
■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

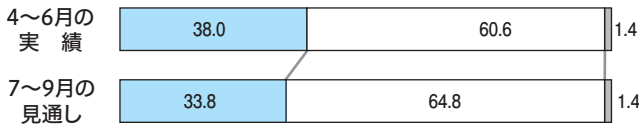
【業況】



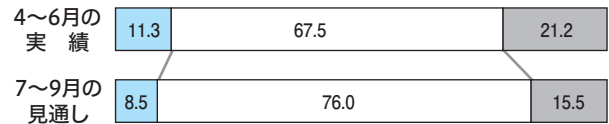
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△16.9、前期比2.5%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△5.6と前期比12.5%、収益判断D.Iが△9.9と同比17.9%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△2.8、前期比6.9%改善、同収益判断D.Iが△25.4、同比3.2%低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△15.5と前期比4.4%低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△12.7と前期比16.9%減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.7%（前期25.0%）、「予定あり」が14.1%（同15.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.5%（前期4.2%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が49.3%、「売上の停滞・減少」が35.2%、「同業者間の競争激化」・「利幅の縮小」がそれぞれ22.5%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

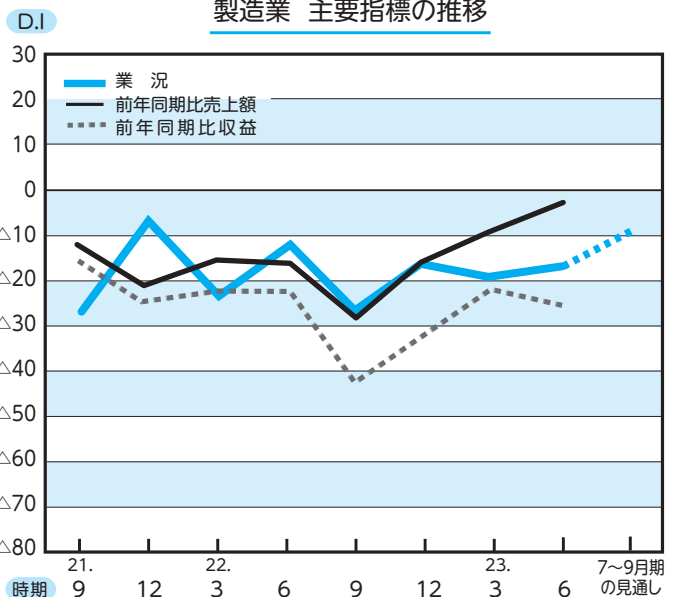
業況の見通し判断D.Iは△9.9、当期実績比7.0%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比4.2%、収益判断D.Iが同比2.9%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比1.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比1.4%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が59.2%、「販路を広げる」が39.4%、「人材を確保する」が25.4%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



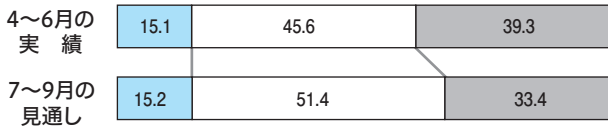
調査員のコメントから

原材料や電気料の高騰により収益を圧迫しているため、賃上げ等の待遇・改善には至っていない。

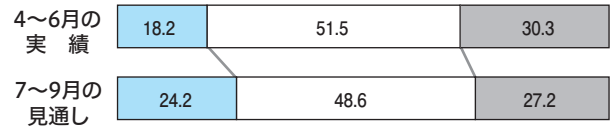
■ 卸 売 業

回答企業数33企業(回答率100%)

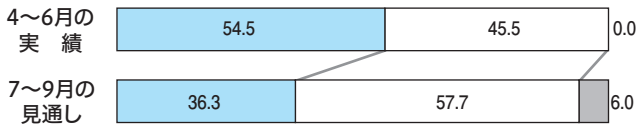
【業 況】



【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△24.2、前期比8.6%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△12.1と前期比3.5%、収益判断D.Iが△18.2と同比3.7%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△6.1、前期比0.2%、同収益判断D.Iが△24.2、同比0.8%ともに改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が12.1% (前期9.4%)、「予定あり」が18.2% (同15.6%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は12.1% (前期6.3%) となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.1と前期比0.4%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△9.1と前期比2.8%低下しました。

経営上の問題点では、「利幅の縮小」が36.4%、「売上の停滞・減少」が33.3%、「仕入先からの値上要請」が27.3%と上位に挙げられました。

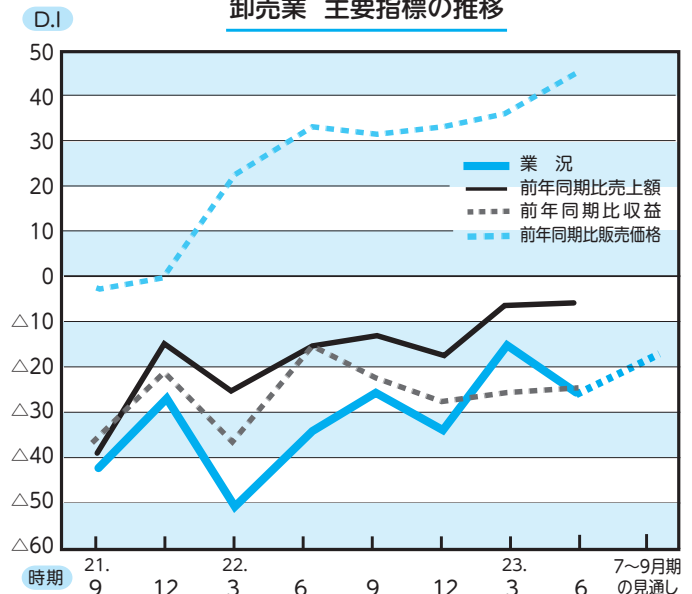
3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

業況の見通し判断D.Iは△18.2、当期実績比6.0%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.1%、収益判断D.Iが同比12.1%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iでは当期実績比18.2%低下を見込んでいます。

卸売業 主要指標の推移



雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比ともに横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が60.6%、「経費の節減」が54.5%、「品揃えを充実する」が21.2%と上位に挙げられました。

調査員のコメントから

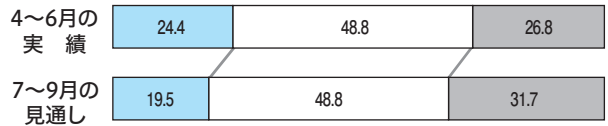
他社では取り揃えていないような商品を扱い、多くの固定客から要望を満たすことで、安定した売上の確保に努める方針。

■ 小 売 業 回答企業数41企業(回答率100%)

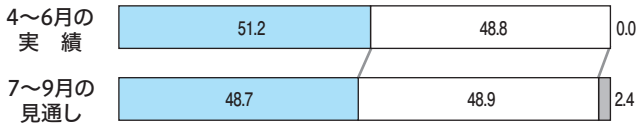
【業 況】



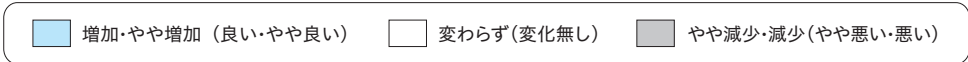
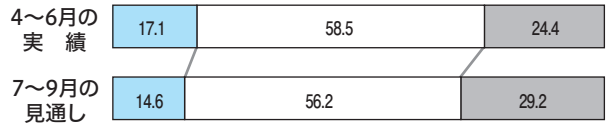
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



景況天気図 **概況(4月▶6月期)**



**業況判断D.Iは△24.4、前期比横ばい**

項目別では、売上額判断D.Iが△2.4と前期比4.9ポイント改善、収益判断D.Iが△7.3と同比横ばいとなりました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0、前期比12.2ポイント、同収益判断D.Iが△14.6、同比7.4ポイントともに改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が17.1%（前期12.2%）、「予定あり」が12.2%（同7.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は4.9%（前期4.9%）となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△19.5と前期比7.3ポイント低下し、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△12.2と前期比4.9ポイント低下しました。

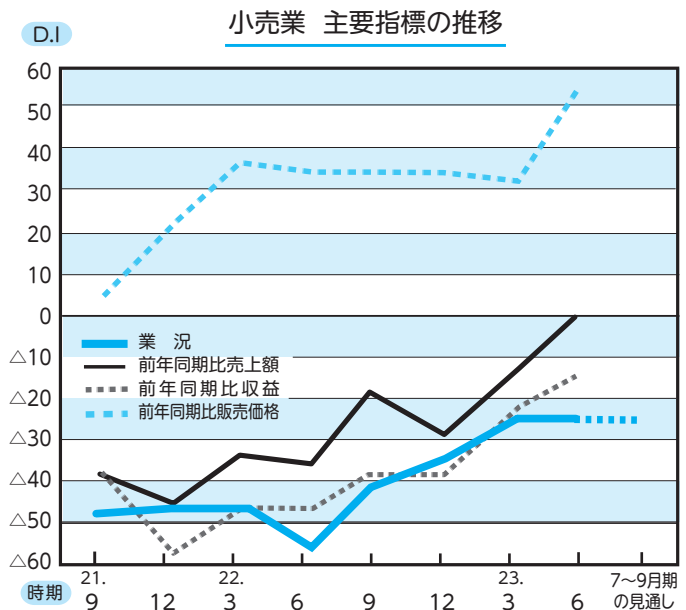
経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が36.6%、「同業者間の競争激化」が31.7%、「大型店との競争激化」が29.3%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報 **見通し(7月▶9月期)**



**業況の見通し判断D.Iは△24.4、当期実績比横ばいの見込**

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比9.8ポイント、収益判断D.Iが同比7.3ポイントともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比4.9ポイント低下を見込んでいます。



雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.4ポイント、残業時間判断D.Iが同比4.9ポイントともに改善の見通しとなっています。

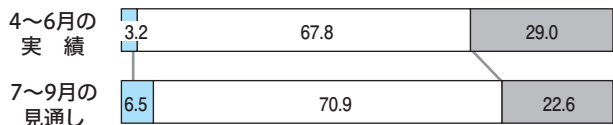
当面の重点施策では、「経費の節減」が65.9%、「品揃えを改善する」が29.3%、「売れ筋商品の取扱」が24.4%と上位に挙げられました。

**調査員のコメントから**      店頭での販売に留めず、インターネットを通じて販路を広げ、売上確保に努めている。

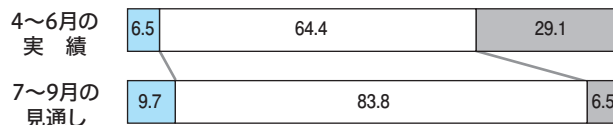
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

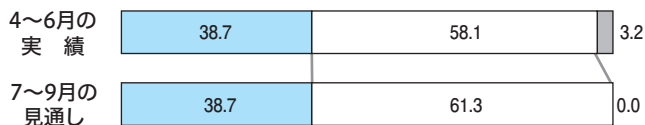
【業況】



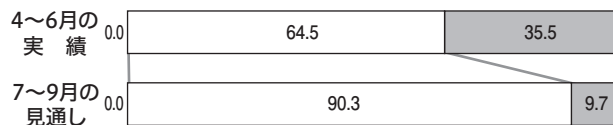
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは△25.8、前期比9.7%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△22.6と前期比9.7%、収益判断D.Iが△35.5と同比16.1%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△6.5、前期比横ばい、同収益判断D.Iが△19.4、同比6.4%改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.9と前期比6.5%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△19.4と前期比19.4%減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が0.0%（前期6.5%）、「予定あり」が3.2%（同9.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.2%（前期6.5%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が38.7%、「材料価格の上昇」が32.3%、「売上の停滞・減少」が25.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(7月▶9月期)

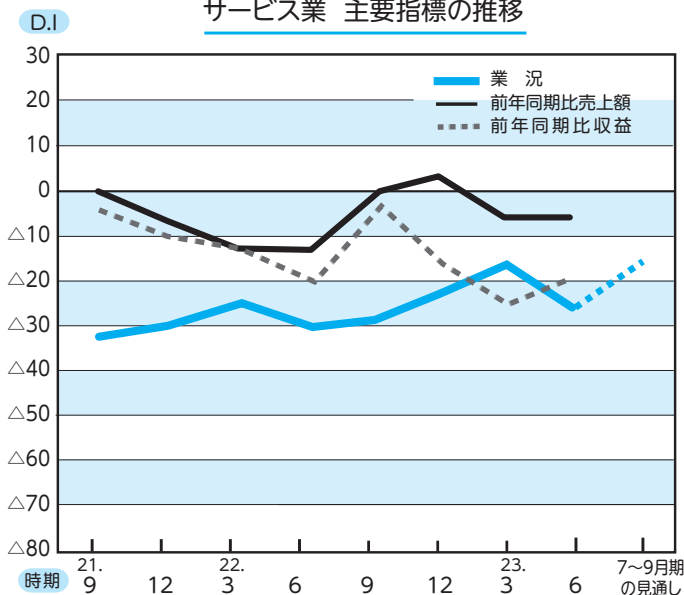
業況の見通し判断D.Iは△16.1、当期実績比9.7%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比25.8%、収益判断D.Iが同比25.8%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比3.2%上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.2%、残業時間判断D.Iが同比6.5%ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が45.2%、「販路を広げる」が38.7%、「人材を確保する」が19.4%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



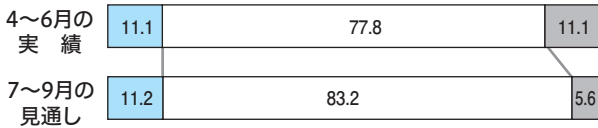
調査員のコメントから

外国人実習生の積極的な登用により人材不足の解消に努めている。また、原材料価格が上昇傾向にあることから、価格交渉及び経費削減に努め収益確保を図る方針。

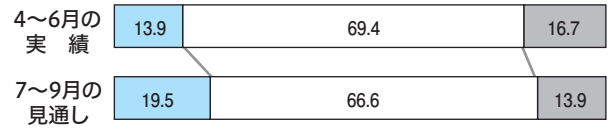
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

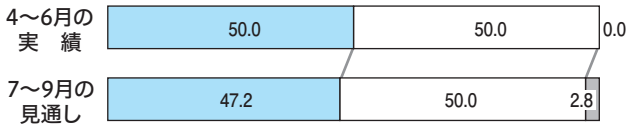
【業況】



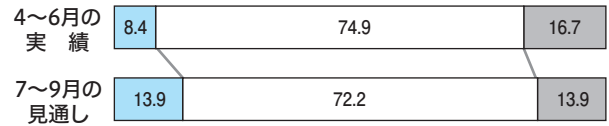
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(4月▶6月期)

業況判断D.Iは0.0、前期比14.3%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△2.8と前期比11.4%、受注残判断D.Iが△13.9と同比16.8%ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが5.6、前期比2.7%、同収益判断D.Iが△11.1、同比8.9%ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△8.3と前期比6.0%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△8.3と前期比5.4%低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が27.8%(前期31.4%)、「予定あり」が16.7%(同17.1%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.3%(前期8.6%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が50.0%、「同業者間の競争激化」が27.8%、「人手不足」が25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(7月▶9月期)

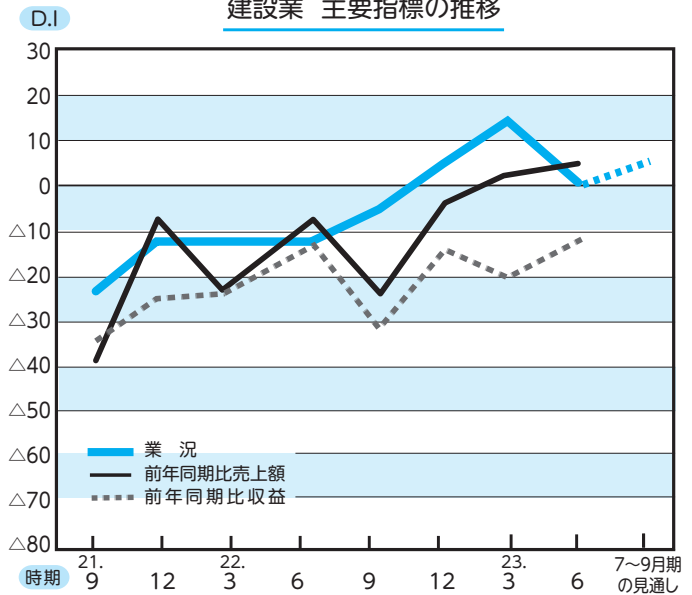
業況の見通し判断D.Iは5.6、当期実績比5.6%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比8.4%、収益判断D.Iが同比8.3%ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比5.6%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.8%低下、残業時間判断D.Iが同比5.5%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が69.4%、「人材を確保する」が38.9%、「販路を広げる」が27.8%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移

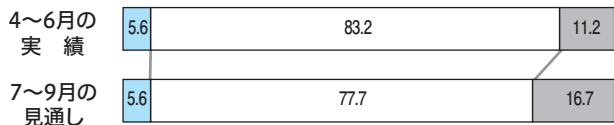


調査員のコメントから

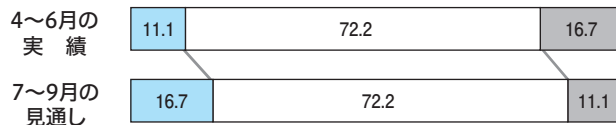
慢性的に人材が不足している。今後、労働条件等を見直し人材の確保に努める方針。

■ 不動産業 回答企業数18企業(回答率100%)

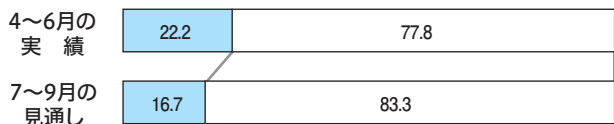
【業況】



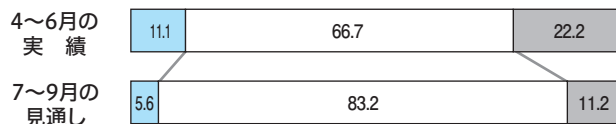
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)   
  変わらず(変化無し)   
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図 **概況(4月▶6月期)**



業況判断D.Iは△5.6、前期比横ばい

項目別では、売上額判断D.Iが△5.6と前期比5.5%、収益判断D.Iが△11.1と同比5.6%ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△5.6、前期比横ばい、同収益判断D.Iが△16.7、同比11.1%低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7と前期比11.1%改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは5.6と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が5.6% (前期5.6%)、「予定あり」が5.6% (同11.1%)を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」・「商品物件の不足」がそれぞれ38.9%、「人手不足」・「大手企業との競争激化」・「利幅の縮小」がそれぞれ22.2%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報 **見通し(7月▶9月期)**



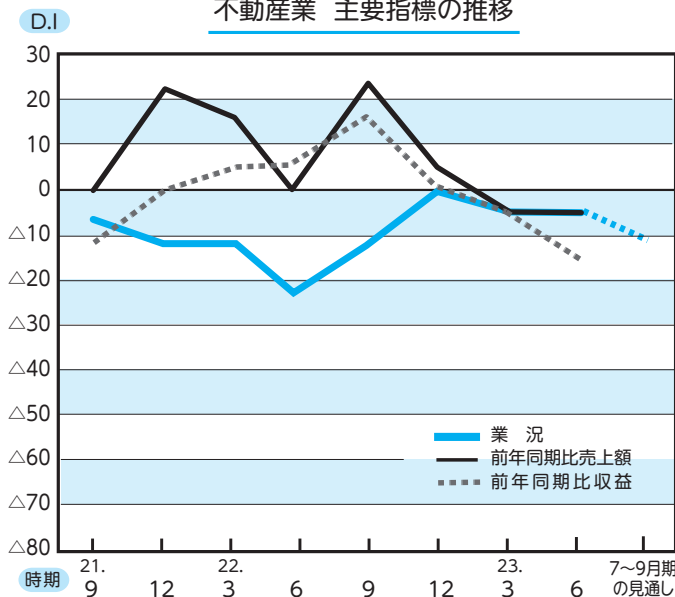
業況の見通し判断D.Iは△11.1、当期実績比5.5%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比11.2%、収益判断D.Iが同比5.5%ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比5.5%上昇を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばい、残業時間判断D.Iが同比5.5%増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が50.0%、「宣伝・広告の強化」が33.3%、「経費の節減」が27.8%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



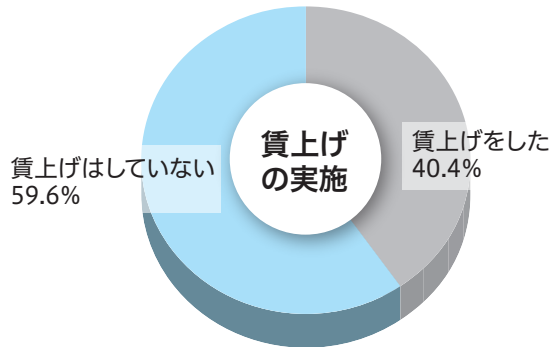
**調査員のコメントから** 地域により格差あるが概ね堅調に推移している。一方で、家賃の値下げ要請や空室が多くなっている。

特別  
調査

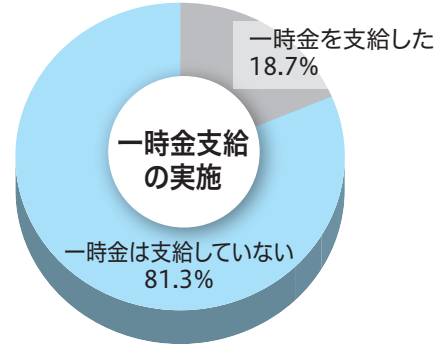
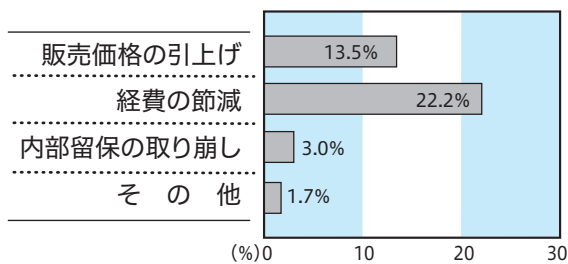
## アフターコロナと中小企業

## 問1

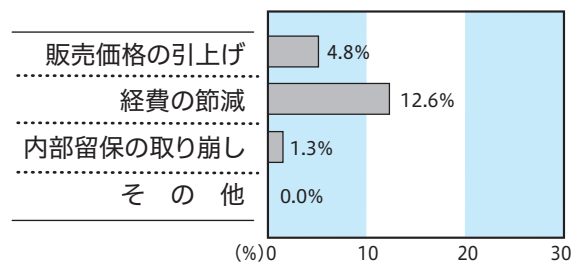
政府が企業に対して賃上げを要請していますが、貴社では賃上げ、もしくは一時金の支給を実施しましたか。



【賃上げの原資】



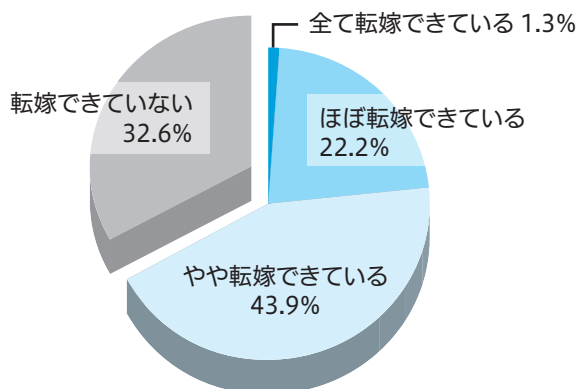
【一時金の原資】



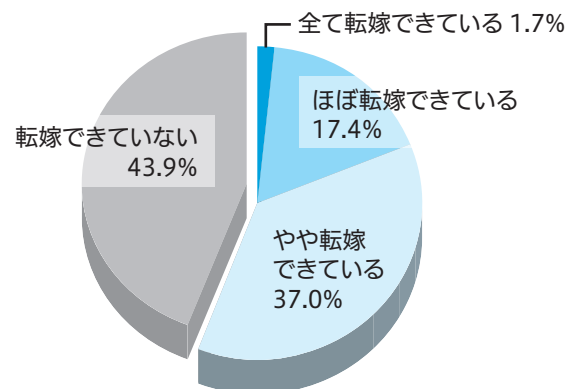
## 問2

貴社では、昨今の原材料・仕入価格の上昇分や電力・エネルギー価格の上昇分相当を、販売価格に転嫁（上乘せ、値上げ）できていますか。

原材料・仕入価格



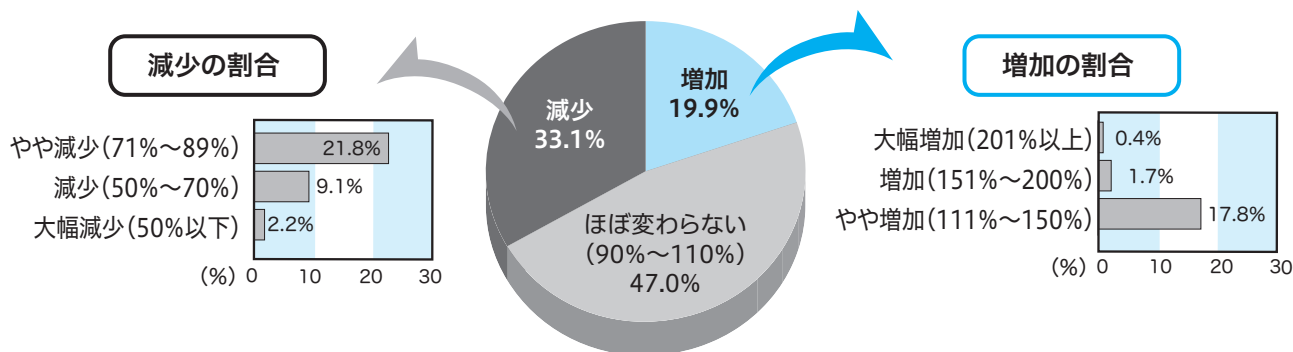
電力・エネルギー価格





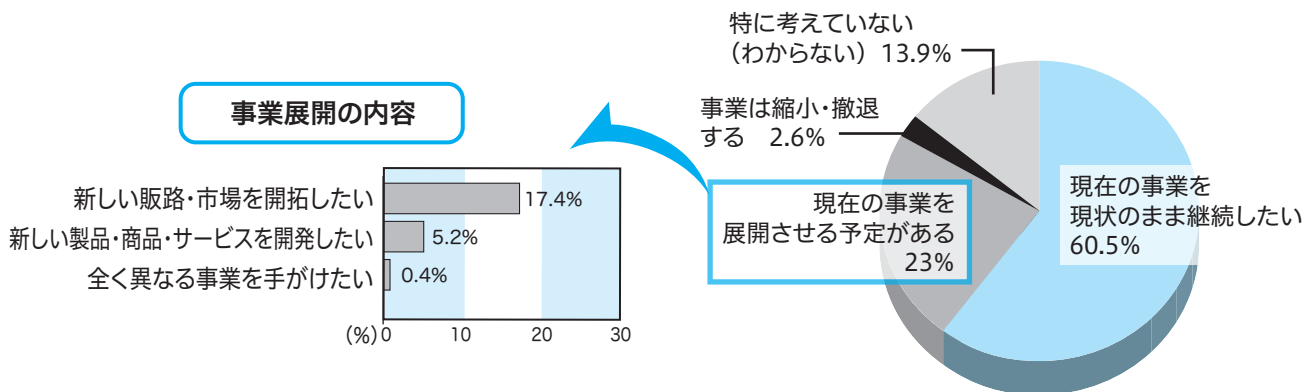
問3

新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過しましたが、貴社の現在の売上について、感染拡大前（およそ3年前）と比べ、どの程度となっていますか。



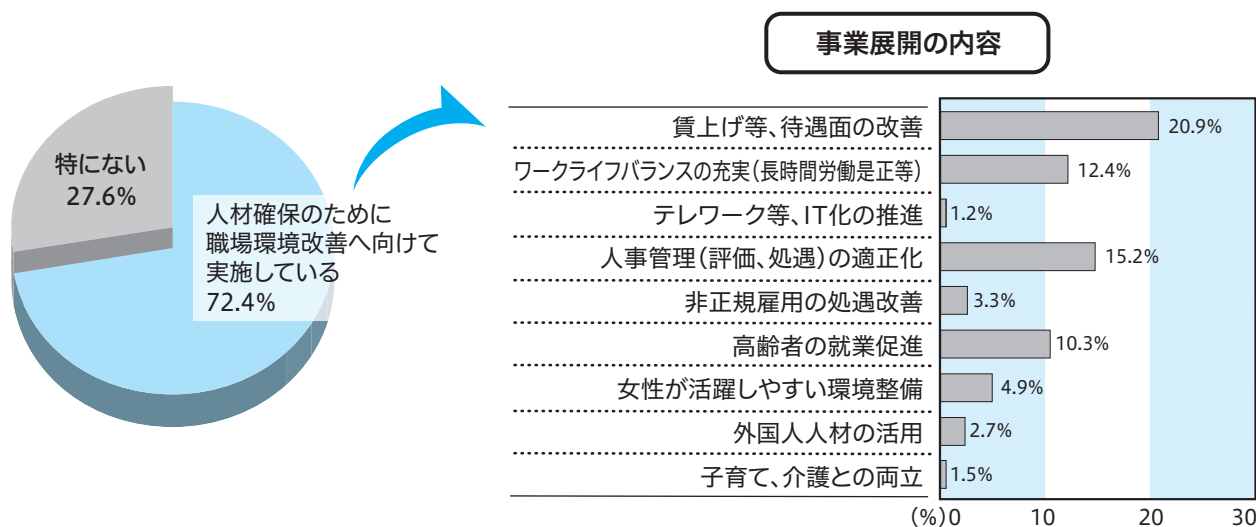
問4

貴社では、3~5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。



問5

貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくことで結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



# 職域サポート契約制度

## 職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれかの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業主（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

## ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が18歳以上の方（但し、一般個人ローンは20歳以上の方）
- 保証会社の保証が得られる方

下記の  
ローン商品の金利を  
店頭表示金利から

# 年1.50% 引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

## 職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

### 一般個人ローン



ご融資金額 **500万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

### ブライダルローン



ご融資金額 **500万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

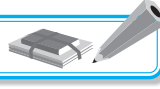
### カーライフプラン



ご融資金額 **1,000万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

### 教育プラン



ご融資金額 **1,000万円以内**

ご利用期間 **16年以内**

### 子育て応援プラン



ご融資金額 **100万円以内**

ご利用期間 **10年以内**

### リフォームプラン



ご融資金額 **1,000万円以内**

ご利用期間 **15年以内**

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

## 2025年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！

応募作品の中から優秀作品を選定し、2025年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

### — 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地  
TEL(0296)32-2110 FAX(0296)33-0414  
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>